

森田・石川県津幡町立井上小学校教頭

ドローンなど活用 映像教材を作成

ドローンなどの機器を使い、映像教材(社会科・理科)を作成した石川県津幡町立井上小学校の森田誠教頭。映像教材は町教委のサーバーにある「映像資料データベース」の中に集約し、町内全校(小学校9校、中学校2校)で共有している。新型コロナウイルス感染症防止のため、現在は社会科見学などの校外学習が行いづらい時期。動画教材を活用することで、紙だけでは理解しづらい内容などがよく分かるという。森田教頭は「実感を伴う理解で確かな学力につながれば」と期待を寄せている。

ドローンなどの機器を活用(ドローン映像)などを用い、作成した映像教材は、合わせて作成。この他に約60本ある。主に社会科や理科で使用することを想定し、子どもたちにとってイメージしやすく、実感に近く内容を中心に扱っている。

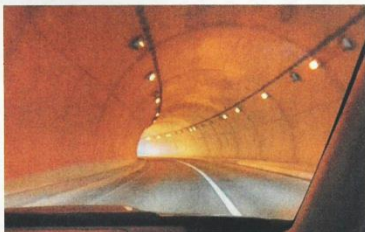
例えば、「広瀬五郎作 笠谷トンネル」(4年社会科「郷土の発展につくす」)では、「笠谷トンネル」の集の説明だけでは、場所や位置、周囲の状況などを児童が理解するには難しさがあふれている。そのため、ドローン映像や車載カメラ映像、静

校外学習しづらい中 実感伴う社会科・理科に

映像教材「広瀬五郎作 笠谷トンネル」(4年社会科「郷土の発展につくす」)の一例



現在の笠野トンネル(静止画)



現在の笠野トンネル(車載カメラ)



トンネル上空(ドローン映像)



地図資料(トンネルと山越えの比較)

止画やテロップなどを組み合わせ、子どものイメージや理解の手助けとなるものを目指したという。

映像教材を作成しようと思ったきっかけは、ニュースで自動車学校のドローンスクール開校を知ったこと。長年、社会科研究に力

を入れて取り組んできた森田教頭は、ドローンに対して教材作りの可能性を感じ、その翌年にはドローンスクールに入校して操縦技能や安全運航管理の資格を取得した。

3カ月後、国交省大阪航空局からドローンなどの無人航空機の飛行に係る許可・承認を得た。休日の早朝など、人が少ない時間帯を使って映像撮影に臨んだという。

町内全校で共有 教委のデータベースに集約

日々多忙の中、一教員がこつた独自教材を作成することは大きな負担がかかる。そのため、他の市・町にも、教材・資料を共有できるような仕組みが広がればと語る森田教頭。「教員間の情報共有が進み、働き方改革につながれば」とも話している。今後も学習効果の上がるような素材探しを進めていくという。



実際の動画資料が見られるQRコード

問い合わせ(井上小) 076-2888-8266
1(森田教頭)